

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第6回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和7年11月18日（火）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名

- ・委 員：青木委員、石黒副会長、近藤委員、竹内委員、中島会長、服部委員、
藤井(光)委員、丸山(明)委員、丸山(勝)委員、丸山(孝)委員、山本委員
(欠席1名)

- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中島会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【中島会長】

- ・会議録の確認：山本委員に依頼

次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

- ・資料1、2、3に基づき説明

本日は具体的な解決策について話し合っていたが、その前に自主的な審議の表題を正式に決めたい。なお、決定後、市ホームページに自主的審議事項のテーマとして掲載する。これまでの皆さんの意見をまとめ、正副会長と協議した結果、「地域での新しいコミュニケーション」を津有区の審議テーマとしてよいか、事務局から提案する。

【中島会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、津有区の審議テーマを「地域での新しいコミュニケーション」としてよいか。

(よしの声)

津有区の審議テーマを「地域での新しいコミュニケーション」とすることが決定した。

次に、本日の協議の進め方について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

前回までの協議から、課題の設定と原因分析までを行い、本日はその具体的な解決策について協議していただきたい。

協議方法は、資料2及び資料3の太枠で囲んだ「解決策の検討」について、前回同様に南部・北部グループに分かれ、町内会活動、公民館活動に関する具体的な解決策を検討していただく。本日、皆さんから出していただいた解決策を整理し、今後、優先順位を付け、実行に移す予定である。まずは多くの解決策を出していただきたいため、本日はどのような解決策を出していただいても構わない。解決策を協議していただく上で、前回挙がった意見の中で、具体的な解決策ではないが、策を検討する上でポイントとなりそうなところを「検討のポイント」としてまとめたので、「検討のポイント」を意識してご検討いただきたい。

- ・検討のポイントについて説明

これらの検討のポイントのほかに追加した方がよいものがあれば、ご意見いただきたい。

(発言無し)

追加等はなしとする。

優先順位を付けた後は、解決策の実行へ移るに当たり、「時期（いつ）」「場所（どこで）」「実施者（誰が）」「対象者（誰に）」「物（何を）」「実施方法（どうする）」「数量（どれくらい）」「経費（いくら）」について、今後、協議する予定である。本日、話し合いがまとまりきらなければ、次回も引き続き話し合っていていただくことも可能であるため、自由に話していただきたい。まとめ、発表は事務局が行う。

【中島会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、グループに分かれて協議に移る。

(各グループに分かれて協議)

それでは、南部グループから発表を求める。

南部グループ

【渡邊係長】

①町内会活動については、時代に合った考え方をしていこうということで、そもそも町内会は必要なのか、若い世代は必要としているのか、否定しないで考えてみる必要があるのではないか。また、町内会の世話になっている部分に気付いていないから、不要と考えるのではないかという意見もあり、その点をゼロベースでシミュレーションをしてみて、町内会の何が必要で、何が不要な部分なのか、負担になっている部分はどこなのか、検討してはどうかという提案があった。

②公民館活動については、先日文化祭が開催されたが、町内会長を除くと参加者はあまり多くなかった。世の中が多様化しており、公民館事業に限らず、様々な所に出掛けて、たくさんの情報を得ている方がいる。それを否定はしない。また、公民館活動自体を見直すのではなく、今この公民館は稼働率が高いということなので、利用者が上手く公民館を活用し、人がつながるようにしていければよいのではないかと。南部から見ると、公民館の活用は北部の人の利用が目立つ印象であり、南部に対する情報発信力を少し強めにさせていただきたく、やはり回覧だと見落としてしまう。このため、時代に合わせた

方法として、例えばLINEなどを活用して、発信方法を検討する必要があるのではないかという意見があった。

【中島会長】

南部グループから補足はあるか。

(発言無し)

続いて、北部グループの発表を求める。

北部グループ

【鈴木主事】

①の町内会活動に重点をおいて協議した。

参加者が固定化されているという課題については、最初に行事へ参加するハードルが高く、参加しづらいことが考えられる。そのハードルを低くするために、日頃から顔を合わせ、集まる機会が増えればよいのではないか。今、程よい距離感を保つと言いつつも、会う機会が少なく、参加者や次の役員が減っているところもある。イベントの参加について、まずは定期的に継続的に声を掛け、顔を合わせて、「参加してみないか」と声を掛けることが必要との意見があった。

親睦機会の減少という課題について、津有北部地区スポーツクラブで様々なイベントが開催されているが、北部中心に活動している部分もあるため、今より広範囲な形で開催できないか。例えば、冬の運動会を幅広い世代や地域を対象に開催できればよいのではないかという意見があった。

また、各団体の代表者が集まる機会がないという発言があった。各団体の総会は話を決める場であって、自分たちの困りごとや現状については話さない。年に数回でもいいので、皆で意見が言い合えるような機会を作り、そこが情報共有できる場になれば、よりよい事業が出てくるのではないかという意見があった。

このようなイベントや集まりを行うにも、回覧版だけでは発信力が弱い。サイトを作り、地域のイベントや状況をいつでも誰でも見て、共有できる場があるとよい。

【中島会長】

北部グループから補足はあるか。

(発言無し)

本日、各グループで話し合った内容については、事務局と整理させていただく。

以上で、次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第４その他「（１）次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：12月16日（火）午後6時30分から
津有地区公民館 大会議室（予定）

【中島会長】

以上で次第４その他「（１）次回開催日程」を終了する。

次に、次第４その他「（２）その他」に入る。

その他、何かあるか。

（無しの声）

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。